

いのち・子ども・地域を守る

12月議会
報告

日本共産党市議団の提案

釧路市が
経営する

育別の高齢者グループホーム休止！

公的責任放棄!!

今議会で、釧路市音別町認知症高齢者グループホームが、2020年3月31日をもって休止することが報告されました。あまりにも突然すぎる発表です。このグループホームは浦幌町のNPO法人が指定管理者として運営してきました。しかし、複数の従業員から退職の申し出があり、それを補充する人材の確保ができないため、契約期間の満了をもって来年度以降の公募には参加しないことを表明。これまで8人の方

が入所していましたが、地元の特養ホームに移る方や、釧路市内の老人ホームに入るなど転居を強いる形になりました。

釧路市が経営するグループホームなので、指定管理者が撤退したら市直営とすべきではないでしょうか。直営で継続する努力をすることなく、休止を選択することはあまりにも安易です。私たち議員団も市の認識を問いたしましたが、「興味を示している業者があり引き続き接触していくのでご理解いただきたい」と答えるのみで、市長は直営化を拒否する態度を示しました。

市民負担の 軽減を重点に

2020年度予算要望書を
市に提出しました

10月からは消費税が増税され、多くの市民は今まで以上に苦しい生活を強いられています。

税金は「住民の福祉の増進」という自治体の本来の役割に使うべきです。市民の声に耳を傾け、市民の生活を守り、福祉優先の市の予算編成が求められています。

日本共産党市議団は、7項目の「重点項目」、計41項目にわたる要望書を12月3日に市長へ提出しました。



2020年度の予算要望書を市長に提出

災害から市民を守る

村上和繁議員は、避難が難しい大楽毛南地区、音別町海光団地の2ヶ所に津波避難タワーを建設するよう求めました。市は、国が津波高の想定を発表してから検討すると及び腰です。一刻も早い検討開始が必要です。

あわせて工藤正志議員は、大雨による内水氾濫のハザードマップを作成するよう要求、土砂災害について、崖地の改修を急ぐよう求めました。



高齢者の医療費 負担軽減を提案

年金削減など高齢者の苦しい生活実態を考えて、西村雅人議員は高齢者医療費無償化を実現するよう要求しました。しかし市は「国の制度設計の中でやるべきもの」という答弁をし、市民に背を向けました。せめて住民税非課税世帯など生活困窮者に限った無償制度をと再質問するも、市は「そういった制度は将来に渡って持続させるものでなければならぬ」と言い訳をし、それさえも否定する態度でした。

市民が主人公
日本共産党

釧路市議団だより

発行：日本共産党議員団 <http://jcpsigi.com/>
釧路市役所本庁舎2階 TEL・FAX 0154-23-5212

2020年
1・2月号



日本共産党
釧路市議団 HP

このチラシは政務活動費で作成しています

「人格否定の暴言(パワハラ)」を受けた当事者に 教育長陳謝

数年前、市内の学校で上司からパワーハラメントを受けたとする当事者の訴えに対し、市教委はパワハラには該当しないと判断しました。しかし、当時の記録をみると、人格を否定する発言が多くあり、市教委の判断は誤りであり、当事者への謝罪を求めました。「能力がない」「分裂病」「(髪型) スケベ分け」などの発言は、明らかに人格を否定する言葉です。北海道教育委員会にも同様の言葉を示すと、「人格否定につながる」との認識でした。そこで、それらを示して教育長に迫りました。

教育長は、「どういった状況の中で、その発言がなされたのかは、私自身、承知しうる当時立場ではありませんでした。…そういった中で、行き過ぎた発言があったとしたら、あるいは、その部下の方がそういった思いでその言葉を受け止められたとしたら、私は教育委員会の責任者として、大変申し訳なく思うところであります」と陳謝しました。



梅津則行 議員



厚労省に「抗議」の 意見書を議決

「再編統合する」とした公立・公的病院名の公表を撤回するよう求める意見書

厚労省が再編統合の「再検証」を求めた公立・公的病院を名指しで公表しました。釧路管内は標茶・厚岸の町立病院と弟子屈厚生病院の3ヶ所。「診療実績が特に少ない」「診療機能が類似・近接」しているから「再編統合」を検討し、結論を出せというのです。地域の現状を無視した、あまりにも機械的で勝手なやりかたに各地の首長も怒っています。

そこで、共産党議員団は、抗議の意味も込めて、議会に意見書を提案し、全会一致で議決しました。

歩いて行ける ところに 図書館の機能を



中央図書館と5ヶ所の図書館の分館・分室でも、「遠くて行けない」という方がたくさんいます。大楽毛中学校では月に2回、学校図書館の地域開放を始め、大変喜ばれています。「阿寒湖のまりむ館の図書を増やして、司書の配置を。公共施設の複合化などの際には、図書館分室を設けるなど、歩いて行ける場所に、図書館機能を」と提案しました。



村上和繁 議員



釧路市内に就職・定着する方に、新たな奨学金返済の補助制度を提案

現在の学生の半分近くが、貸与型奨学金を借り、卒業後の返済に困っている方が多くいます。旭川市で7月から始めた「旭川市若者地元定着奨学金返済補助事業」と同様の制度を釧路市としても始めてはどうかと、教育長に提案しました。この制度は、市内で就職し地域に定着した方を対象に、在学中に借りた奨学金返済の一部を、市が補助するというもの。地域経済の担い手を確保するためにも有効です。今後も実現を求めています。



工藤正志 議員

保育所等の副食費の無償化を！



昨年10月に幼児教育無償化が始まりましたが、給食費に係わる実費は徴収されます。私は、給食費のうち副食費(1人1ヶ月4,500円)の無償化を要求しました。給食費は、保育に係わる一連の経費だからです。これに対し、市は「昼食は日常生活でも発生するもの。国の制度設計の中で行って参りたい」という答弁に終始。子育て支援に冷たい市政が浮き彫りになりました。



西村雅人 議員

最低賃金 引き上げの陳情

自公などが否決

釧路地区労働組合総連合から「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」についての陳情が出され審議されました。この陳情は最低賃金をすぐに1000円に、そして1500円を目指すことが主な趣旨です。最低賃金生活を体験したことがある西村雅人議員が賛成討論をし、「病気になるっても病院に行けず、外出もままならず、休日は何もしないでじっとしているだけ。これでは健

康で文化的な生活などできる訳がない。」と実態を告発しました。しかし自民・公明会派の反対で採択にはなりませんでした。



山本隆幸事務局長の談話

釧路地区労働組合総連合 全国水準と比べ釧路の賃金水準は低い方です。賃金の底上げをしなければ産業は停滞し、若い人が定住できず人口減に拍車がかかります。北海道内では約20自治体が可決しているので、これできらめることなく、最賃引き上げの運動は継続して取り組みたいと思っています。